

2024年度 女子 2部 適用規則

大きく変更している部分があります。必ず確認してください。

採点規則2022年版 変更規則Iを以下のように部分変更して、大阪高体連2部適用規則とする。

《出場クラス》

- ・ **Advancedクラス(以下Aクラス)と、Basicクラス(以下Bクラス)を設定する。**
- ・ 選手は、「**Aクラス**」「**Bクラス**」を試合申し込み時に申告する。
- ・ Aクラスは、**アクロバット系のC難度以上の技を禁止技**とする。ダンス系の技に禁止技は設けない。
- ・ Bクラスは、**アクロバット系のB難度以上の技を禁止技**とする。ダンス系の技に禁止技は設けない。
- ・ **Advancedクラスに出場した選手は、その年度はBasicクラスに出場することはできない。**

《Dスコア》

難度点 (DV)	跳馬・・・2022年版採点規則の難度点に1.40点をプラスする。 段違い平行棒・・・終末技を含む最大8つの高い順からの難度を数える。 平均台・・・終末技を含む最大8つの高い順からの難度を数える。 (アクロバット系、ダンス系の区別はしない。) ゆか・・・最大8つの高い順からの難度を数える。 (アクロバット系、ダンス系の区別はしない。) Aクラスにおいて、最後のアクロラインの後に実施されたアクロバット系の技は難度点として数えない。(*4) 同一技の難度は演技の中で、1回のみ承認される。
構成要求 (CR)	4つの構成要求を各0.5点とし、最大2.00点とする。
加点	段違い平行棒・平均台・ゆかの演技において、以下のように加点する。 *質の高い演技に対して、最大0.5点を与える。 演技の一部分または全体の流れに対して評価する。 ・身体の詳細までコントロールされた常に美しい姿勢 ・欠点のない正確な技の実施 ・雄大さ(宙返りの高さ・振幅の大きさ など) *ボーナスとして、 +0.5または+0.7 を与える。(各種目の項に記載)

《Eスコア》

10.00から、実施と芸術性の減点をする。

《短い演技》

短い演技の場合、Eスコアの最高点は以下の通りとする。

- 6技以上の実施・・・10.00
- 5技の実施・・・8.00
- 4技の実施・・・6.00
- 3技の実施・・・5.00
- 2技の実施・・・4.00
- 1技の実施・・・3.00

《跳馬》

<ul style="list-style-type: none"> ・ 2回の跳躍を実施し、良い方の得点を有効点とする。 ・ 跳躍台の高さ 120cm ・ 開脚跳び・閉脚跳び・台上前転のDスコアは1.00とする。Eスコアの最高点は5.00とする。 ・ 台上倒立前転のDスコアは2.00とする。Eスコアの最高点は7.00とする。 ・ 宙返りを伴う跳躍技を禁止技とする。

《段違い平行棒》

構成要求 (CR)	<ul style="list-style-type: none"> ①低棒け上がり ②高棒け上がり ③棒に近い回転系の技 ④③とは異なる棒に近い回転系の技
種目特有の減点	「低棒から高棒へジャンプして移動する -0.5」を削除する。
A難度を認められる技 (構成要求に使用できる)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開始技としてのさかあがり 開始技で低棒け上がりを行ったが承認されなかった。 そののち、さかあがりを行ったとき、さかあがりのA難度は認められる。 ・ そんきよ ・ 高棒からの棒下振り出しおり
ボーナス	クラス・・・終末技がA難度の場合は+0.5、 B難度の場合は+0.7 を与える。 Bクラス・・・終末技がA難度の場合は+0.5を与える。
その他	Aクラスは、C難度以上を禁止技とするが、倒立局面を逸脱することによって難度が変わる技は禁止技としない。(例 後方浮支持回転倒立)

《平均台》

構成要求 (CR)	<ul style="list-style-type: none"> ①180度の開脚 (前後/左右) または左右開脚屈身のリープ・ジャンプを1つは含む 少なくとも2つのダンス系の技からなる組み合わせ ②片足上のターン (360度以上) または接転系の技 (*1) ③前方/側方のアクロバット系の技 (前転を除く) ④後方のアクロバット系の技 (後転を除く)
種目特有の減点	変更なし
A難度を認められる技 (構成要求に使用できる)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伸身とび ・ かかえこみとび ・ 前転 ・ 後転 ・ 前転とびおり ・ 側転とびおり ・ 片足ふみきり側方伸身宙返りおり ・ 片足ふみきり前方伸身宙返りおり
ボーナス	Aクラス・・・終末技がA難度の場合は+0.5、 B難度の場合は+0.7 を与える。 Bクラス・・・終末技がA難度の場合は+0.5を与える。

*1 接転系の技・・・前転・後転・前転上がり・手支持なしで前転・倒立前転

《ゆか》

構成要求 (CR)	①180度の開脚（前後／左右）または左右開脚屈身の跳躍技を1つは含む2つのリープ またはホップの直接または間接の組み合わせでの移動（*2） ②片足上のターン（360度以上） ③前方／側方の空中局面を伴うアクロバット系の技（*3） ④後方の空中局面を伴うアクロバット系の技（*3）
種目特有 の減点	変更なし
A難度を 認められる技	・前方倒立回転 ・側方倒立回転 ・後方倒立回転 ・倒立前転 ・後転倒立 ・かかえこみとび
ボーナス	Aクラス・・・ アクロラインを2本以上実施した場合、最後のアクロラインの宙返りに終末技 ボーナス(A難度の場合は+0.5・B難度の場合は+0.7)を与える。 ただし、最後のアクロラインの後に実施されたアクロバット系の技は難度点 として数えない。 Bクラス・・・3つの技（3つとも空中局面を持つアクロバット系の技）からなるアクロ バット系のシリーズに+0.5を与える。

*2 間接・・・ランニングステップ、小さなリープ、ホップ、シャッセ、シェネターンが入ったもの。

*3 空中局面を伴うアクロバット系の技・・・前転とび、後転とび、ロンダートは含まれる。

*4 アクロライン・・・1つの宙返りを含む少なくとも2つの空中局面を伴う技の直接の組み合わせ。

《採点指針》

跳馬	・跳躍全体にスピード感があり、高さや距離を伴うダイナミックな実施。 ・着地の先取りができた高い体勢での安定した着地。
段違い平行棒	・腕の曲がり、膝・つま先の緩みがない美しく伸びた体線での正確な実施。 ・振幅が大きいダイナミックな実施。
平均台	・立ち姿勢や歩く姿勢も含め、常に身体の細部までコントロールされた美しい姿勢での演技。 ・正確で安定したアクロバット系の技の実施。 ・ジャンプ・リーフ・ホップに高さや身体のハリがあり、すべてのダンス系の技において姿勢欠点 がない正確な実施。 ・身体を最大限に使い、演技全体に流れのある芸術的な演技。
ゆか	・立ち姿勢や歩く姿勢も含め、常に身体の細部までコントロールされた美しい姿勢での演技。 ・アクロバット系の技の高さがあり、着地姿勢までコントロールされた正確な実施。 ・ジャンプ・リーフ・ホップに高さや身体のハリがあり、すべてのダンス系の技においてコントロ ールされた正確な実施。 ・身体を最大限に使い、表情を含め表現力豊かで芸術的な演技。

採点の最重要項目

- ① 身体の細部までコントロールされた常に美しい姿勢での演技。
- ② 欠点のない正確な技の実施。
- ③ 着地の先取りができた高い体勢での着地。